

# 群馬菱の実会だより



## 年頭に当たって

群馬菱の実会 会長 大谷 清輔

新年明けましておめでとうございます。皆様には、お健やかにあたらしい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は皆様の深いご理解を得て、年会費を値上げさせていただきました。おかげさまで将来のために積み立ててきました「菱の実基金」を20年度より使うことなく会を運営しています。そして、将来のために多少なりとも積み立てが出来るようにと、幹事一同頑張っているところです。

ご承知の通り、今世界は大不況に突入してしまうのではないかと恐れられています。アメリカ発のサブプライムローンの焦げ付きにはじまる、金融商品の信用不安、損失からの金融危機です。これによりアメリカの証券、銀行はガタガタとなり経済の混乱は世界に広がっています。日本も6年続いた景気も終焉し、輸出の減少、円高、銀行の貸し渋り、企業収益の悪化、失業者の増加等で完全に不況に入ってしまった。

いままさに強力な政治力で、早急に景気対策を行うべきですが、政府の指導力不足で対策は後手後手、出直しをしないと駄目なようです。

そんな先の見えない状況ですが、我々としては地域への貢献のボランティア活動や趣味を生かした活動を通して、人々とのつながりを深めると共に自分を磨き、元気にすごしたいものです。

今年も役員一同、会員の皆様に喜んでいただける活動を行いたいと思っています。皆様からのご提案、ご協力をお願いします。



## 群馬菱の実会の発展を願って

三菱電機労働組合群馬支部  
執行委員長 荻原 浩良

菱の実会の皆様、新年明けましておめでとうございます。平成21年の新春を健やかに迎えのことと心よりお喜び申し上げます。また、日頃より弊支部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて昨年は組合執行部の改選期であり、8月から新しい体制で気持ちを新たにスタート致しました。又、組合・会社共に大変嬉しいことが多かった年でもありましたので紹介させていただきます。

1つめは春季交渉です。三菱電機6期連続増益を達成見込みである環境下で「翌年度のさらなる飛躍のためのモチベーションと、7期連続の増益を達成したい」として、「賃金改善額1,000円」「一時金5.83カ月」の妥結をすることが出来ました。特に一時金については近年にはなかった高水準となり、組合員の評価は大変高いものでした。

2つめは馬電の業績好転であります。構造改革以降取り組んできた各種の改善活動がいよいよ実を結びつつある状況にあります。しかしながら、秋以降の金融危機による世界経済の混乱により状況が一変し、現下の情勢はこれまでの労使の努力を吹き飛ばしてしまうほどの異常な状況にあります。今後も労使で引き続き地道な努力をしていきたいと考えています。

3つめは菱の実だよりでも紹介されましたが、「第一線監督者の集い：全国大会」において最優秀賞である「大野耐一特別賞」を工作課・加藤SSが受賞しました。この賞は三菱電機にとっても初めての受賞となります。又、馬電の「ものづくり強化策」が評価された結果でもあり大変喜ばしいことです。給湯機専門製作所として、再出発して4年が経過しようとしています。この間、菱の実会の皆様にも大変ご心配をお掛けしましたが、着実に「元気な馬電」になりつつあります。是非、総会時の工場見学会でご覧いただければと思います。

最後に、菱の実会の益々の発展と皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



## 【新入会員紹介】

長島 邦彦 さん (平成12年5月退職) 伊勢崎市安堀町



平成12年3月に三菱電機を定年退職、菱馬テクニカへ転籍し、平成18年3月に菱馬テクニカを退職し現在に至っております。

顧みますれば、馬電 39年、菱馬テクニカ 6年の永きに渡る会社生活で、主に 工作、生産技術、品質保証など、の業務を担当させていただきました。この間多くの方々との素晴らしい出会いがあり、苦しく挫けそうな時もありましたが 皆様の心温まるご指導、ご鞭撻をいただき、充実した毎日を過ごす事が出来ました。心より御礼申し上げます。

これからも皆様から得たご教導を糧に有意義な第二の人生を送りたいと思いますので、相変わらずのご厚情を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 第39回 ゴルフ愛好会コンペ報告



順位	氏名	GRS	NET
優勝	坂田 修	78	70.8
準優勝	萩原十四夫	83	71.0
3位	鈴木 清一	86	71.6
4位	竹沢 宏	82	72.4
5位	田口 勝也	81	72.6
6位	大竹 操	80	72.8
7位	高木よし子	80	72.8
8位	長谷川正男	92	72.8
9位	小池 利雄	79	73.0
10位	中村 晴三	78	73.2

12月9日(火)に大間々カントリー倶楽部に於いて、第39回菱の実会ゴルフ大会を実施しました。当日は雨の予報でしたが皆さんの心掛けのせい、前半は晴れて風も無く暖かくて最高のコンディションで、目の前に見える雄大な赤城山をバックに豪快なショット、後半も晴れのち曇りで最後の組がパラパラと降られた程度で12月にしては最高のコンディションでのゴルフコンペでした。

成績は31名が参加して21名が90回以下で9名が80回以下とレベルの高いコンペでしたが、その中で実力のある坂田修さんが優勝しました。

最高のコンディションで楽しくゴルフが出来ました、ご協力に感謝いたします。

次回の大会は'09年4月に上武ゴルフ場の桜を見ながらのゴルフを計画したいと思います。

## 馬電トピックス

### ★ 源義国公 松の墓標 (石碑) の案内板を設置

馬電構内に、平安時代後期の武将“源義国公”を祀った石碑が、明治時代から残されています。源義国公は、歴史上の足利尊氏・新田義貞の祖先で天皇の勅勘を受け上野の土地(群馬県)に蟄居し、新田荘(現在、太田市南西部)に住んでいました。同地でその生涯を閉じ、墓標として松の樹が植えられました。明治時代になり墓標の老松が枯れたため、その松の跡・姿(面影)が無くならないよう、石碑が建立されたものです。

石碑は、馬電創立時には構内神社付近にありましたが、古くから残る貴重な遺産を大切に受け継ごうと、建立当時の場所(松の墓標跡地)に石碑を戻し、今年8月、碑文の解説や系図などを記した案内板を設置しました。機会がありましたら是非ご覧になってみてください。





## シリーズ・馬電の思い出

### ⑥ 『ふとん乾燥機』誕生秘話

… NHKプロジェクトX風・バージョン



ふとん乾燥機 AD-600形

睡眠中に人体より発散される水分は、一晩で牛乳瓶一本といわれている。そのため天日に干したふとんは気持ちいい。だから梅雨時や太陽を見ることの出来ない冬場の豪雪地帯、そして住宅事情によって干す場所のない家庭にとって、敷いたまま天日乾燥と同等の効果が得られる家庭用「ふとん乾燥機」は、最高の福音であった。

当初このふとん乾燥機は、三菱電機中津川製作所で開発研究されていた。外部よりアイデアの持ち込みがあったもので、「ヘアードライヤーをふとんの中に入れてかわかすと具合がいい」。そこから開発がスタートした。開発者は、ふとんの中全体に均一に温風を吹き入れる方法に苦労した。ビニールパイプに穴をあけたり、ビニールシートに穴をあけたり…と、いろいろ試行錯誤の末、ジャバラホースで布袋の中に温風を吹き入れる方式に落ち着いた。当時ふとん乾燥機には、「ふとん乾燥車」の中にふとんを入れて乾かすものと、鉄棒にふとんを掛けて周囲から温風を吹き付けて乾かすものがあったが、いずれも外から温風で乾かす方式であり普及していなかった。このふとん乾燥機は全く逆の発想だった。

試作品が完成した。早速主婦対象のグループインタビュー調査が行われた。いつでも天気を問わず乾燥できる点は好評だったが、敷いたまま室内で乾燥させる点に抵抗があり、全体としてあまりいい評価ではなかった。開発はそのまましばらく見送られていた。

昭和51年8月、中津川製作所の技術部長「K」が群馬製作所の副所長として群馬県尾島町にやってきた。同時にふとん乾燥機の開発も群馬製作所に移管された。

「K」は早速、ふとん乾燥機の開発にとりかかった。9月には最終仕様が決まり、12月北陸3県でテスト販売が実施された。この年は記録的な豪雪であった。1000台のテスト販売用は、またたく間に売れた。テスト販売を札幌、東北、新潟に拡大したが、調査より物よこせの状態が続いた。

昭和52年4月全国発売。この時の営業所の販売見込みは、年間10万台であった。

「K」は一喝した。30万台にしろ！

北陸での購入者の追跡調査が報告された。96%の人が評価85点以上。ほぼ全員の人が、他の人に薦めたい。申し分のない満足度であった。まもなく販売計画は、60万台に修正された。

全国発売すると、まもなく全国の販売店から直接工場に出荷の督促が相次いだ。生産が追いつかない。製品のとりあいとなった。なかには工場にトラックで製品を取りに来る店もあった。

「K」は、発売後すぐ大增産とともに、モデルチェンジと機種系列拡大の指示を出した。他社の追随を感じていた。6月、案の定他社が同じような商品を出してきた。

この年の梅雨は幸い長雨。一気にふとん乾燥機の傘が開いた。マスコミがこぞって取り上げた。

「売れて、売れて」「市場一気に急上昇」「意外？なヒット」「主婦に大もて」…新聞にこのようなコピーが躍った。

9月、第二弾の新商品を発売した。普及タイプ・高級タイプ・業務用タイプの3系列だった。これで一気に他社を引き離れた。10月にはほぼ全メーカー出揃い、「ふとん乾燥機」の市場が確立された。

結局三菱は、この年、修正計画の60万台を売り切った。それまで尾島の工場は、古い建物にすすけた煙突だけが目立つ赤字工場であった。それがこの1年で大幅な黒字工場に変わった。

巷では、このような言葉が聞かれた。「潜水艦が空を飛ぶ」。

その後尾島の工場は、このふとん乾燥機をきっかけに「オープンレンジ」「石油ファンヒーター」など次々に新商品を世に送りだしていった。  
(篠崎 記)

## ◇ おしらせ ◇

		日時	場所	申込み、その他
1	1月の 囲碁愛好会	1月19日(月) 9:30~	赤城倶楽部	ご自由にご参加ください
2	1月の麻雀会	1月8日(木) 1月22日(木) 9:30~17:00	赤城倶楽部 会費2000円	申込み 1/6(火) 20日(火) 荒井昭三 (0276-52-0803) 小林昌樹 (0276-38-0964)
3	1月度 グラウンドゴルフ例会	1月26日(月) 9:30~ (集合 9:15)	利根グラウンド ゴルフ場	現地集合 (会費:無料)
4	第40回 ゴルフ愛好会例会	次回は、4月の予定です		川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
5	2月の パソコンサークル	2月2日(月) 13:30~15:30	労組事務室	ご自由にご参加ください
6	2月の カラオケ月例会	2月2日(月) 17:30~20:30	カラオケ本舗 「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み:1月27日(火)まで 大橋 浩 (0276-52-3866)
7	編集委員会	1月19日(月) 13:30~	組合会議室	都合の悪い場合は、事務局まで 忘れずにご連絡をお願いいたします
8	幹事会	2月2日(月) 15:30~		

## &lt;PRコーナー&gt;

## まちなかジューヴォでお茶会などいかがですか?

新築でお考えの方はもちろん、会合・交友会等々に使用していただけるまちなかのオープンハウスです。

エコキュート・IHクッキングヒーター・エアコン  
など三菱製品も展示・紹介されています。

あなたのまちなかのオープンハウス



\*フレッセイ宝泉店・ザ・ダイソー  
宝泉店すぐそば。(太田市宝町)

お気軽にお問い合わせください。  
ダイワハウス両毛支店  
0276-49-7601(担当:長谷川)

まちなかブログ公開中。詳しくは、[www.daiwahouse.co.jp](http://www.daiwahouse.co.jp) (←クリック)

## 編集後記

新年おめでとうございます。「一年の計は元旦にあり」とは言い古されたフレーズ。エブリーサンデーのままでいい。将に我々OBの為にあるようなフレーズ。OBになってしゃべる機会が激減したり、息を止めて踏ん張るような機会も激減すると、「廃用症候群」という使わない器官が衰えて、例えば声帯に隙間ができて、唾液が気管支に入り込み、唾液におぼれて窒息することになりかねないことを、最近のNHKの「ためしてガッテン」で知った。エブリーサンデーの弊害を発見と言った感じで、とりわけ、「(OB+独居)×老人」ともなると、この「廃用症候群」は確実に襲ってくるようで、躊躇してられない事例。一年の計がなかなか思いつかない人には、まずは菱の実の「カラオケ愛好会」に入会して、愛好会の皆さんとおしゃべりしたり、歌を唄って喉を鍛えたりすることが良いのではとお勧めする次第。その上、歌を唄うことは脳を刺激し活性化する働きがあって、音楽療法なるものが確立されている程ですから。菱の実にはその他沢山のクラブ・同好会があるので、ご自分の好みで選択して頂ければOK。詳しくはお知らせ欄を参照下さい。という訳で皆さん、今年の一年の計はできましたか? 良い年でありますように! (細野編集委員)

発行 2009-1-6 No.189

発行責任者 大谷 清輔

編集:「菱の実会だより」編集委員会

三菱電機労働組合群馬支部

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207

菱の実会だよりホームページ アドレス <http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>